

自然に教わる

桜井 白田 文子



天空は5月晴れのブル-。明るい陽光が降り注ぎ、その光を受けて鈴蘭・さくら草・花かいどう.....草花が競い合いながら伸びている。木の芽が吹き一刻一刻その色や形を変えていく。虫や動物も冬の眠りから覚めびっくり顔で動き始める。とんびが目の前でからすに追われ大羽をバタバタさせる。からすはにらみ合った猫のように「フウ.....」という唸り声で威嚇。「ヒーヒー」と情けない声を出して逃げ惑うトンビ。洗濯物を干すことも忘れ大空にくり広げられた光景を凝視する。佐久の春は野や山がゆっくり動き輝やいてくる。

昨春39年間の教職を辞して1年、大げさに言うならばこんなにも自然と対面し、丁寧に見つめた時期は有っただろうか。自然は素直である。暑いときは暑さに、寒いときは寒さに素直に順応しながら(まさに自然体で)エネルギーを着々と蓄え年輪を重ねていく。成長発展は自然界の摂理であるが、一時も歩みを止めないすごいパワーの持ち主だ。勤務していた学校の校歌の一節に「北方に浅間火の山,南方に八つの群峰.....」のすてきな歌詞がある。浅間山を飽かず眺めることのできる今、永遠のテーマとして創作活動を始動しはじめた。この至福な時を大自然の素直な営みに感謝しながら、これからも学んでいきたい。

地域力の充実を

志賀 須江 徳子

朝、賑やかな声と共に、明るい元気な子ども達の声、姿です。擦れ違う人には、明るく、さわやかな挨拶がこだまする、登校のひとときです。

子どもの数が減少し、総人数が少なくなったのが気になります。内閣府が発表した『少子化社会に関する国際意識調査』では、「子どもを生み育てやすい国と思う」の回答は、スウェーデン97・7%、米国78・2%に対し、日本は47・6%と半数に満たないとのことでした。

最近の暗いニュースの中、子どもを欲望制御能力をもつ、健全な大人に育てるには、親だけでは足りない。家庭を地域に開くことによって、地域力の回復郷土の底力を蓄え、その充実により、子ども達が誇りをもって社会の一員として育ちます。親の在り方を改めて考えると共に、子どもの安全、安心と健康やかな成長のため、子ども達と共に精進を願う日々です。

その日の日帰り温泉は、休日を楽しむ家族連れや、農作業の汗を流す人々で大層な賑わいでした。ゆったりした温泉の気分が好きで、時には私も出かけます。そこでこんな光景を目にしました。

見たところ八十歳をとうに越していると思われるおばあさんが、お孫さんでしょうか、若い娘さんに手を引かれ入ってきました。娘さんはゆっくり服を脱がせてあげ「おばあちゃん転ばないようにな」と静かに手を引

うでした。

休日のため休憩所は子どもたちの駆け回る姿で賑やかでした。そんな中、自分の背よりずっと小さくなってしまったおじいさんの手を引いた小学生の男の子が目に入りました。男の子はおじいさんを家族の休んでいる席に連れて行き「じいちゃん横になって少し休みな」と座布団を出しているのです。おじいさんのうれしそうなお顔がとても印象的でした。眼の前の光景に、私は心の中で水が力に温まった気がしました。



やれしらの 積み重ね

きながら体を洗って湯船に入れてあげました。

「ああ！極楽極楽！。長生き

はするもんだわいなあ」「お孫さんですか。いいですね」「ふんとなら、おれつくれるの歳になりやあ温泉にはこれねえだけど、孫が車に乗せてこうやって連れて来てくれるでやすに。何たって幸せなことやすに」「きつと小さい時から大事にしてあげたんでしょね」「そんなこともねえけどさ、こんなにいい娘になっ

てなあ」とほんとうにうれしそ

「長生きはするもんだわいな」といつていたおばあちゃんも、ニコニコした満足そうな笑顔のおじ

いちゃんも、今までの長い人生で周りの人にたくさんの優しさを与えてこられたのでしよう。

若い娘さんも男の子も、当たり前のようによく自然にお年寄りとして接していたように思います。人は優しくして貰うことで人に優しくできるのでしよう。

日頃のちよっとした小さなやさしさの積み重ねが、大きな幸せとなっていくようなそんな気がした一日でした。

(人権同和教育推進員

井出 淑子)

小学生の公民館体験学習

- おじいさん、おばあさんに教えてもらったよ -

野沢小3年生107名を迎えて、公民館の体験学習が開かれました。

硬筆・絵手紙・英会話・郷土料理・リズム体操・仕舞の6グループに分かれ、学習グループの皆さんと一緒に熱心に、楽しく学習することができました。

「子どもの頃から公民館活動に慣れ親しんで欲しい、おじいさんやおばあさんの日頃の精進の様子を知り、楽しい交流のきっかけを作りたい」という願いのもとに始められたこの催しも年々充実したものになってきています。



硬筆



絵手紙



英会話



郷土料理



リズム体操



仕舞

公民館報 さくし

第16号

本館 〒385-0051
佐久市中込2947
☎0267-64-0551
FAX0267-64-0553

浅間地区館
☎0267-67-2110

野沢地区館
☎0267-62-0116

中込地区館
☎0267-62-0504

東地区館
☎0267-67-2545

白田地区館
☎0267-82-2106

浅科地区館
☎0267-58-3957

望月地区館
☎0267-53-2548

瀬音

保育園の行事に参列する時、いつも決まって心の拠所に触れる思いがする。かわいらしい表情やあどけない仕草は、忘れていたやさしさ、やわらかさ、そして自然体の生命そのもので、思わず手を差し伸べたくなる。中でも一人ひとり、日頃の生活ぶりのあれこれを語りかけてもらいながらの卒園証書授与式は印象深い。それぞれが大切に受けとめられ育まれてきた毎日ならではのコメントで、先生達の情愛が込められていて親ならずとも心打たれる。

大昔、卒業時に恩師が皆に贈る言葉を書き下ろした。
清く、正しく、美しく。

大好きな先生からの贈り物を胸に、夢中で飛んで帰った。

ところが、母は突然激昂し、「お前の生き方が悪いからこんなことを書かれるのだ。」と頭上で怒りまくった。訳の分からぬ切なさがかみ上げ、何の弁解の余地もないまま遂方に暮れたあの日。新一年生達はそれぞれの人生の糸を現在、どのように紡ぎ始めたのだろうか…。過ぎた日々への思い出も織り交ぜてどうか強く、清々しくあって欲しい…と思う。

(宿岩 益衣)